

PICK OUT! No.12

JPNIC ブログコーナー

JPNICブログから、6,300人参加と史上最大規模となったIGF 2023のフォトレポートをピックアップしました。ブログ記事ではもっと詳しく解説されていますので、ぜひブログもご覧ください。

dom_gov_team 2023年10月19日

インターネットガバナンス 他組織のイベント



<https://blog.nic.ad.jp/2023/9306/>

IGF2023フォトレポート

2023年10月8日(日)から12日(木)までの5日間、京都市の京都国際会館でインターネットガバナンスフォーラム(IGF)京都2023(以下、IGF2023と略します)が開催されました。IGFは国際連合が主催、ローカルホストは各国政府が務めることになっており、今回のローカルホストは総務省でした。355セッションにわたりさまざまな議論が展開されましたが、ここでは開会部分と、目を引いたセッション二つを紹介します。

01

初日Day0の晩に開催されたガーライベントは、会議棟の中のホワイエで開催されました。写真は鈴木総務大臣の挨拶の様子ですが、中二階などにもホワイエが配されているため、思い思いの場所で歓談するグループがいて、スピーチの時にはステージをのぞき込む、のような様子がかがえると思います。ビュッフェにはさまざまな料理が並んでいましたし、ガーライベントの最後には日本庭園の向こうに花火が上がりました。



02

Day1の開会式では、歌舞伎「連獅子」を元としたプロジェクションマッピングによる未来的な映像作品による迫力のあるオープニングの後、岸田首相が挨拶なさいました。マルチステークホルダーアプローチによる対話の場としてのIGFの意義と重要性を強調し、IGF2023での議論の進展に期待する力強い挨拶でした。首相は開会式に引き続いて持たれたAIをテーマとしたハイレベルセッションにも登壇なさい、2023年5月に開催されたG7広島サミットの成果である広島AIプロセスに触れ、日本政府の積極的な取り組みを示しました。



03

注目に値するセッションとして、まず「IGF 2023 Day 0 Event #134 Talk with Metaverse residents - a new identity and diversity (メタバース住民と話す - 新たなアイデンティティと多様性)」が挙げられます。バーチャル美少女ねむさんとのトークイベントをIGF向けに作り変えたものです。ねむさんと共同研究を行う人類学者Liubmila Bredikhinaさんがセッションに参加し、ジェンダー論の観点からの議論もありました。メタバース上の人格をIGFに登壇させる、メタバースの世界をIGFコミュニティに見てもらう、そしてねむさんのファンのようなセグメントの方々にIGFに参加してもらうなど、いくつも意義深いことが実現したセッションとなりました。



04

もう一つ目についたのは、Day2に開催された、IGF 2023 WS #69 Manga Culture & Internet Governance-The Fight Against Piracy(漫画文化とインターネットガバナンス-海賊版と戦う)です。このセッションには慶應大学教授の村井純さんとともに、「ボーの一族」などの作品で知られる大漫画家、萩尾望都(はぎおもと)さんも登壇しました。漫画文化の豊穡さや重要性が議論された後、海賊版による被害の実態や対応策が議論されました。質疑応答の時間には数名の参加者がフロアマイクに並び、正規版よりも海賊版のほうがアクセスが良い実状が訴えられたり、逆に海賊版規制による表現の自由への影響についての懸念が呈されるなど幅広い議論がありましたが、全体的には漫画に対して並々ならぬ愛着を持った温かい意見が多く聞かれました。セッション企画者である出版業界の方々と話しましたが、IGFの場で海外の方々にもこの問題を知らしめるとともに意見が聞けた機会をととても高く評価なさっていました。このような機会が積み重なって国際的な認知が高まり、問題解決に少しでも近づくことを願ってやみません。



カテゴリー

- IETF
- Internet Week
- IPアドレス
- JPNICからのお知らせ
- JPNICについて
- JPNICのイベント
- アクセス数Top 10
- [インターネットガバナンス](#)
- インターネットの技術
- コラム
- ドメイン名
- 他組織からのお知らせ
- [他組織のイベント](#)

PICK OUT BLOG

2023
10.19

JPNIC
JPNICブログ
BLOG